



とくていひ え いりかつどうほうじん
特定非営利活動法人

じりつしえん

自立支援センター

おおいた

このまま黙ってられない！

「“障害者自立支援法案再提出”NO！」緊急集会

第9号 発行年月日：2005年12月28日（水）

発行元：特定非営利活動法人

自立支援センターおおいた

編集担当者：五十嵐 えり

平成17年10月1日(土)13:30~15:00の日時で、大分市大津町の県総合社会福祉会館に於きまして、障害者自立支援法案について、大分県民と国会議員、行政関係者の方々等と、話し合い意見交換をする緊急集会が開催されました。この日は、300人を越える参加者が集まり、まず、国会議員の横光 克彦衆議院議員(民主党)、足立 信也参議院議員(民主党)が挨拶をされ、前参議院厚生労働委員の足立議員は、「障害者福祉予算は、GDP比で1%前後で、欧米の3分の1以下と非常に少ない。義務的経費化されるのは、居宅支援の部だけで650億円程度。国から言えばそんなに大きな額ではない。国は、介護保険と統合して介護保険料を財源にしたいと考えており、税金を使いたくないだけ。障害程度区分はモデル事業の結果、3割がサービスを受けられなく可能性があるようだ。自立支援法は時間をかけてやり直すしかない。当事者の考えを理解することから始めることが大切で、国会議員の中で理解する人を増やしていきたい」と述べられました。

続くミニシンポジウムには、河野 博さん(自立生活センターおおいた)、白田市の松本 安美さん(NPO法人ほっかぼっか)、津久見市の倉原 英樹さん(NPO法人やまびこクラブ理事)がパネリストとして参加され、「サービス利用の上限設定は長時間介護が必要な重度障害者にとっては死活問題である」「どんな生活をするか、自己決定することが自立だ。できないことは、誰にでもある。能力のあるなしではなく、できないことは、社会が手助けすればいい。助け合う社会こそ必要だ」等の意見発表がありました。

最後に、これからも継続して粘り強く国や厚生労働省と交渉していくと言うことが改めて確認され、閉会となりました。

現在、大分県庁をはじめ、各市町村で障害者自立支援法案施行に向けた具体的な施策整備が急ピッチで進んでいます。しかし、平成17年12月現在で収集した情報から考えてみても、障害当事者にとって厳しい現実が待ち受けていることは必死です。来年4月施行までは、時間がない状況ですが、少しでも良い方向に向かうよう関係機関への要望書等の提出も推し進めたいと考えております。



記事担当：河野 龍児

たんけんたい かいさい グレートバリアフリー探検隊、開催！

がつ たのうら 《10月・田ノ浦ビーチ》

きもちいいあきばれのなか たのうらビーチのバリアフリー探検が行われました。

今回は一般参加を含む計14名が参加され、2組に分かれての探検となりました。田ノ浦ビーチは平成4年度からの国、県、市の合併事業に伴って整備された総合公園で、園内にはレストハウス、人工島の田ノ浦アイル、レストラン、遊具施設、海水浴場等があり、大分県民のレクリエーションの場となっています。探検では園内の身障者用トイレや各施設の使い心地などを調査しました。ビーチがまだ新しい事もあって施設設備もかなり整備はされていたものの各所に問題点が見つかり、バリアフリー施設の整備の難しさと維持の厳しさを実感しました。公園内の景観はとても素晴らしく、遊歩道等の整備がしっかりとされていて家族連れや友人と遊びに来るにはもってこいの場所だと思います。特に「田ノ浦アイル」からの海の眺めはオススメです！このような場所をより多くの皆さんで共有できるようにさらなる施設整備がされる事を願っています。



がつ まとがはまこうえん こうえん こうつう 《11月・的ヶ浜公園～なかよし公園（交通バリアフリーチェック）》

たんけんとうじつはあいにくの曇り空、少し肌寒い中での探検となりました。

今回はボランティアを含む10名の参加者で探検を行い、国道10号線沿いにある公園内施設と歩道のバリアフリーチェックを車椅子体験等を交えながら進めていきました。田ノ浦ビーチの探検の時もそうでしたが、このようなチェックをするのは初めてと言う方もいて、トイレの寸法やスロープの幅等の計測をする際にどこをどのように計測しているのかが困惑されていましたが、当事者スタッフとやり取りをしながら徐々に感覚をつかんでいるようでした。各公園内に設置してある身障者用トイレはお世辞にも綺麗とは言えず、入り口周辺のスロープや、鍵、手洗い場等、改善すべき部分が多く見られました。また芝生によってトイレへのアクセスがしばらく案内板も無いため公園内のトイレを利用される方も少ないのではないかと思います。ただ、なかよし公園は新しくなったばかりで綺麗に整備されていて身障者用トイレも多目的に使えるなど大変綺麗になっていました。最後に、今回調査した場所はいずれも海が近くにあるため、トイレや遊歩道がキッチンと整備されていればもっともっと人が集まって来るでしょう。普段ゆっくりと海を眺める時間がない方でも気軽に立ち寄れる施設や公園であって欲しいと思います。



第4回 福祉フォーラムIN別府速見

連続セミナー第1回目 9月17日(土)「ONSENツーリズムと福祉」別府大学34号館115教室

約50人が参加し、パネリストに甲斐賢一氏(別府市旅館組合連合会エバ・サレザイン特別委員会会長)、米倉仁(当センター代表)、二野宮スミ氏(移住プロジェクト・わくわくラダ)そして司会に篠藤明德氏(別府大学文学部人間関係学科教授)を迎え行われました。

この福祉フォーラムは今年で4年目。誰もが住みよい町づくり、別府の福祉関係者・団体外のネットワークを作ること等を目的に、今年度は3回の連続セミナーという形で、福祉フォーラムIN別府速見実行委員会と別府大学人間関係学科の共催にて行われるようになりました。

パネリストの甲斐さんは、新しい温泉施設を改装する際、障がい当事者の米倉さんのアドバイスをうけ、浴室にリフトを設けるなど工夫した経験を紹介し、「こういう施設が増えれば住みやすい町になる」として大学生らにも積極的に活動に関わってほしいと話をされていました。

同じくパネリストの車椅子利用者の当センター代表の米倉は、飲食店や宿泊施設などの車椅子利用者対応のトイレ設置などについて「車椅子の人が1人で来るわけではない。宿泊施設でも居酒屋でも集客につながる。バリアフリーもビジネスチャンスになる」と話していました。

別府移住を進めるプロジェクトに関わっているパネリストの二野宮さんは、大阪での多忙な病院勤務を終え別府に移り住んだ女性の一人。別府でも町歩きガイドをするなどしており「生まれ変わったような気持ちで毎日過ごしています」と現在の生活ぶりを紹介しました。

司会をつとめた篠藤明德教授は、テーマの設定について「安心して暮らせる町作りの視点が必要。金儲けだけ考えていてもだめだ」と地域の活性化にはバリアフリーの視点が欠かせない等と指摘されていました。

今回のセミナーには当センターからも数名の健常者スタッフ、障害者スタッフも参加していましたが、あらためて宿泊施設や飲食店のバリアフリーや心のバリアフリーが、地域の活性化には欠かせないということを考えさせられるセミナーとなりました。



連続セミナー第2回目 12月3日(土)「障害者と就労」別府大学34号館115教室



今回のセミナーには市民・当事者併せて60名以上にも上るたくさんの方々が参加してくださいました。

障害者が地域で生きるために、就労の問題は大きいということから、大分障害者職業センターの近藤光徳さんに、その現状と課題についての基調講演をしていただき、大分県の法廷雇用率は全国的にはトップクラスではあるが、知的・精神障害者の雇用は低いといった問題や雇用者の障害者に対する理解度の問題が浮き彫りにされました。

続いて、菅建材の社長であり、商工会議所の議員でもあります菅健一さんの司会でパネルディスカッションが行われました。パネラーには基調講演をしていただいた近藤さんを始め、障害者作業所・道するべ代表 矢守和枝さん、社会福祉法人太陽の家・事業部作業支援課 小田ひろみさん、サンこうさんだひょうとりしりやく かんだみちこ博道さん、センチュリー21・三幸興産代表 取締役 神田道子さん、ミックリーニング社長 三谷雅之さんといった方々が集まっていた。雇用主側からの意見として「パートの方々が、自主的に手話を学ぶ姿勢がみられたりと、会社の雰囲気がとても良くなっている」といった話なども聞くことができました。

その後、会場の参加者を含め質疑応答や意見交換が活発に行われ、改めて障害者をめぐる就労の問題の大きさを再確認し、今後もこういった話し合いが進められ、ほんとの意味での共生社会が出来ればと感じました。

記事担当:河野博・若杉竜也

人権啓発フェスティバルおおいた2005開催！

平成17年11月25日(金)～26日(土)の日程で、大分市のコンパルホールにて人権啓発フェスティバルおおいた2005が開催されました。2日間の日程で、人権に関する様々な催しや講演、ワークショップが企画されていましたが、25日にありましたCILくにたち援助為センター代表 安積 遊歩さんの記念講演「わたしがわたしであること。あなたがあなたであること」を皆で聞きに行ってきました。内容は、アメリカでピア・カウンセリングを学び、日本へ導入し広めてきた経緯やご自身の半生、現在の活動等、また娘さんの宇宙(うみ)さんとの生活についてのお話で、特にピア・カウンセリングを学んでいる当事者スタッフにとっては、とても美りの多い時間となったようでした。ただ、安積さんと直接お話しをする機会が取れなかったことがスタッフ一同心残りでした。



安積 遊歩さん記念講演

人権啓発フェスティバルおおいた2005ワークショップ開催！



平成17年11月26日(土)12:00～15:00の日時に、大分市のコンパルホール 312会議室で、人権に関するワークショップを開催致しました。

今回は、「障がい者の自立生活と地域福祉の現状及び将来の展望 ユニバーサルデザインによる暮らし-」をテーマに、参加者16名を集め、まず初めに、障がい者の方々の心のケアということで、ピア・カウンセリングについての話しがあり、ピア・カンの始まりや決まり、感情について、また、最近の楽しかったことをテーマにセッションが行なわれ、「心の傷に気づき、楽しい、嬉しいという経験が続いていけば、人は誰しも傷を自然に治癒していける力(エンパワメント)を備えている」ということを体験しました。

次に、別府市千代町に今年3月に完成した当団体の事務所も入居するユニバーサルマンションの紹介が行なわれ、参加者の皆さんから様々な質疑応答がなされましたが、「官民間問わずこのような建物が増えれば、ノーマライゼーション社会が促進されるのでは」という意見に参加者の皆さんが賛同されていました。

次に、大分市や別府市で一人暮らしをする障がい者の方々の、自立生活についての体験談の発表があり、それぞれがこれまでに経験してきた貴重なお話しを聞かせて頂きました。

最後に、障害者自立支援法の現状についての話しの後、ディスカッションが行なわれましたが、知的障害者の施設で働いている方からは、重度の障がい者が地域で暮らすのが難しくなるという現状が話され、参加者一同、これから始まる新しい福祉の未来が影を落とす余りにも暗い状況を憂い、が、しかし、『希望を持って歩いていきましょう』ということを確認し終了しました。



2005年度

「大阪府障害者ピア・カウンセリング長期講座」に参加しました。



H17年11月27日（日）～H17年12月1日までの4泊5日の日程で行われた「大阪府障害者ピア・カウンセリング長期講座」に私西川と河野龍児さん、そして介護者の酒井さんと平野さん計4名で行って来ました。

出発当日はソニックに乗り込んでから激しく雨が降り出して、またしても私が雨女であることを証明する結果になってしまいました。

さて、講座の内容についてですが今回、障がいの異なる方達（軽い知能障害）感情のコントロールが出来なくて

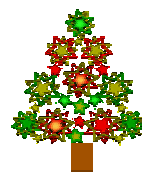
難しかったり、ゲームを取り入れ身体を動かして表現する。大きな声をだすなどを中心にプログラムが進められました。私自身はとても苦手で恥ずかしいと感じるプログラムなのですが軽い知的の方達はとても楽しくセッションされていたので感心してしまいました。と同時に初日は下を向いて小さな声でしか話せなかった人が、日毎に大きな声で笑って話すようになっていく姿を見てこれこそ「ピア・カウンセリング」なのかもしれない！と感じ、私自身もリラックスすることができました。

私も大分に帰り、多くの方達に自分の言葉で伝える楽しさや分かり合える喜びを伝えていきたいと強く思い帰路に帰ることができました。

今回、「ピア・カウンセリング長期講座」に参加することでたくさんのお話を学ぶことができたと感じています。



「自立支援センターおおいた・自立生活プログラム・クリスマス会」開催



H17年12月18日（日）自立支援センターおおいた主催による「自立生活プログラム・クリスマス会」を開催しました。当センターでは初めての試みでしたので、どうやって人を集めていいのかなど担当者でありながら不安でした。もう一人の担当者であります五十嵐さんにチラシを作成してもらい、利用者の方達や大学生・施設などに配りましたが当初の不安が的中してしまい参加申込が少なかったためスタッフと話し合いを行い、直接施設へ伺いました、お電話をかせさせていただきました。

開催2日前だったので参加者が増えるのか不安を抱えたまま当日を迎えました。

当日の朝は冷え込みが厳しかったため、予定より1時間遅れての開催となりましたが別府駅に集合してケーキ作りの材料や道具を買い、待機組みの待つ会場へ向かいました。

会場へ着くと私の不安を吹き飛ばすほど多くの方達が待っていて嬉しい気持ちと緊張感でいっぱいになりました。グループに分かれ、スポンジにトッピングをして個性あふれるケーキの出来上がり！一部を写真でごらん下さい。

今回、参加していただきました皆さん、スタッフの方々本当にありがとうございました。

おかげさまで素敵な時間を過ごすことが出来ました。お疲れ様でした。



ケーキ作り風景



お知らせ

2006年

1月～6月の予定

これからも自立支援センターおおいたや自立生活センターおおいたでは、楽しい催し物をぞくぞくと行っていきますので、ご家族・ご友人をお誘いの上、皆さんふるってご参加下さい。

詳細は、1ヶ月前にチラシや市報などによりお知らせ致します。
(催し物や日程は都合により変更の場合がございますので予めご了承下さい。)

ピアカン基礎講座 1月22日(日)13:00～16:00

バレンタインデー チョコ作り 2月11日(土)10:00～16:00

第4回福祉フォーラム 第3回連続セミナー「障害者自立支援法」

2月25日(土)14:00～16:00



ヒートデビルズ試合観戦 3月4日(土)時間未定



ピアカン基礎講座 3月19日(日)13:00～16:00



お花見 4月2日(日)10:30～15:00

魚釣り 5月14日(日)時間未定



ピアカン基礎講座 5月28日(日)13:00～16:00

パークプレイス or うみたまご 6月11日(日)時間未定

< 編集後記 >

みの虫もすっかり冬支度を終えたようです

さて、師走と言えば今年一年を振り返る頃でもあります。皆さんにとって、どんな一年でしたでしょうか。

去年の自分より、少しでも成長している所があればしっかりと褒めてあげたいものですね

最後になりましたが、今年一年、皆様には大変お世話になりました。

来年も皆様の声を大切に受け止めスタッフ一同頑張っていきますので宜しくお願いいたします。

編集後記担当：西川 扶美子

主なサービスは次の通りです。

- 訪問介助サービス
- ピア カウンセリング
- 自立生活プログラム
- 福祉各種無料相談
- 自立生活 バリアフリーセミナー
- バリアフリーコンサルタント
(ユニバーサルデザイン)

特定非営利活動法人 自立支援センターおおいた

〒874-0942

大分県別府市千代町13-14 エパ-カマンション 2F

TEL : 0977-27-5508

FAX : 0977-24-4924

E-mail : 333@jp114.com

★ URL : <http://www.jp999.com/333/>

★ 私達は利用者主体の介助サービスを提供しています★

